



平成30年11月15日

各 位

会 社 名：日本乾溜工業株式会社
代 表 者 名：代表取締役社長 伊東幸夫
(コード番号 1771 福証)
問 合 せ 先：取締役総務部長 後藤信博
役 職・氏 名：(TEL 092-632-1050)

中期経営計画について

当社グループは、「環境にやさしく安全な社会の創造に向けてあくなき挑戦を続ける。」とする経営理念のもと、平成31年9月期を初年度とする「【第82～84期】中期経営計画」を策定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画の内容

前期をもちまして『より必要とされる企業へ（「100年企業」に向けての磐石な経営基盤づくり）』を方針として策定しました「第79～81期）中期経営計画」につきましましては、終了となりました。当社グループでは、第82期に80周年の節目を迎えますが、主力事業とする建設業界では、企業間競争の激化と労働者不足等から、経営環境は更に厳しくなるものと予想されます。この難局を乗り越えるべく、「建設」「防災安全」「化学品」の3事業領域の拡大を図ると共に、政府が提唱する働き方改革にも積極的に取り組み、企業価値のさらなる向上を実現するため、平成31年9月期を初年度とする3ヶ年の「中期経営計画」を策定いたしました。

次期「中期経営計画」の全体テーマ

「C o m p l i a n c e（コンプライアンス）」

「C o m m u n i c a t i o n（相互理解）」

「C h a l l e n g e（挑戦）」

「C r e a t i o n（創造）」

頭文字の“C”をとり、『“4C”コンシャス（意識する）』をスローガンに、「100年企業に向けた強固な足場作りから、グループ一体で絶対的存在感を発揮する。」ことを目標に掲げ、より一層「建設」「防災安全」「化学品」の3事業分野の事業領域拡大を図ってまいります。さらに、収益力向上と財務基盤の強化と共に、人材・組織力の強化とコンプライアンス体制の徹底を目指してまいります。

詳細につきましては、添付しております「【第82～84期】中期経営計画」をご参照ください。

2. 添付資料

「【第82～84期】中期経営計画」

以上

【第82～84期】中期経営計画

〔 2019年9月期（第82期） ～ 2021年9月期（第84期） 〕

2018年11月15日



日本乾溜工業株式会社

はじめに

【第82期～84期】中期経営計画の策定にあたって

〔2019年9月期（第82期） ～ 2021年9月期（第84期）〕

 日本乾溜工業株式会社

当社は「環境にやさしく安全な社会の創造に向けてあくなき挑戦を続ける。」とする経営理念のもと、これまで「建設」「防災安全」「化学品」の3事業の連携を図り、『より必要とされる企業へ（「100年企業」に向けての盤石な経営基盤づくり）』を方針とした「第79～81期）中期経営計画」を策定し、グループ社員一同目標達成へ取り組んでまいりました。

当該3ヶ年では熊本震災や九州北部豪雨災害が発生し、安全な社会の創造を標榜する当社グループの役割を再認識する機会となり、九州全域に展開するネットワークを駆使しつつ、災害復旧・復興へ一丸となって邁進いたしました。完全な復興へ未だ道半ばではありますが、引き続きグループ全社を挙げて貢献してまいりる所存であります。

また、当社の高い技術力が評価され、九州全域に亘る高速道路ナンバリング標識への取り換えや、暫定二車線高速道路でのワイヤーロープ防護柵の九州初導入に携わることが出来ました。さらに、安全衛生法改正へ一早く対応し、保護具メーカー協力のもと、滞りなく迅速に供給を完了させることで、皆様からの信頼を勝ち取り、一步ずつ着実に必要とされる企業への歩みを進めてまいりました。これもひとえに、株主・取引先様のご支援とグループ社員の努力の賜物と深く感謝申し上げます。

当社グループは、2019年に80周年の節目を迎えます。主力事業とする建設業界では、公共投資は底堅く推移しているものの、企業間競争の激化と労働者不足等から、経営環境はさらに厳しくなるものと予想されます。この難局を乗り越えるべく、「建設」「防災安全」「化学品」の3事業領域の拡大を図ると共に、政府が提唱する働き方改革にも積極的に取り組んでまいります。その上で、『100年企業に向けた強固な足場作りとして、グループ体での営業力・技術力結集から、地域・業界での絶対的存在感を発揮する。』ことを目標に掲げ、【第82～84期】中期経営計画を策定いたしました。

2018年11月15日

代表取締役社長 伊東 幸夫

| | | |
|-----|---------------------------|------|
| I | 中期経営計画のあゆみ | ・・・1 |
| II | 第79-81期)中期経営計画の振り返り | ・・・2 |
| III | 【第82期～84期】中期経営計画策定 の背景 | ・・・4 |
| IV | 基本方針 | ・・・6 |

I 中期経営計画のあゆみ

■【中期（3ヶ年）経営計画】
2013年9月期～2015年9月期

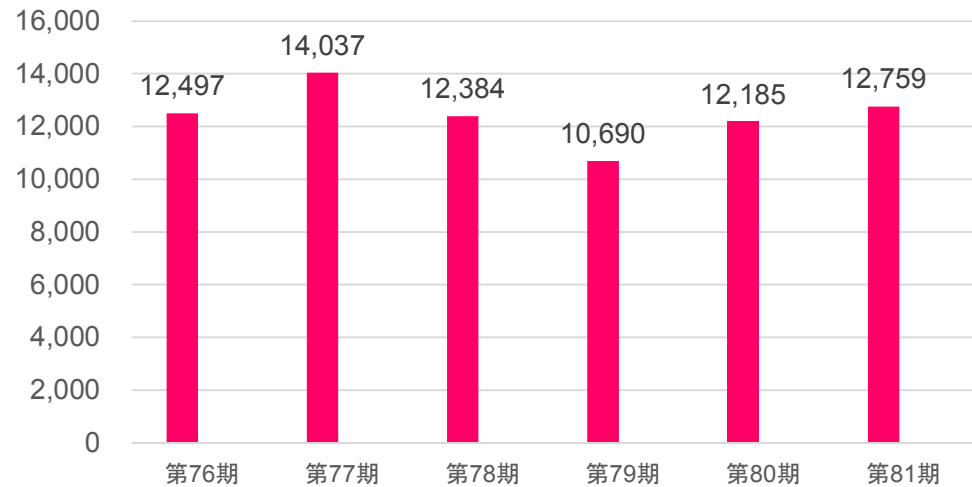
●100年企業への礎を築く3年間
「スピード感」と「やる気の集団」を構築

■【第79-81期）中期経営計画】
2016年9月期～2018年9月期

●100年企業に向けての磐石な経営基盤づくり
「より必要とされる企業へ」なることを目指す

■連結業績推移

連結売上高推移 (単位：百万円)



| 勘定科目 | 中期(3ヶ年)経営計画 (2013年9月期～2015年9月期) | | | 第79-81期)中期経営計画 (2016年9月期～2018年9月期) | | |
|-----------------|------------------------------------|----------|----------|---------------------------------------|----------|----------|
| | 第76期 | 第77期 | 第78期 | 第79期 | 第80期 | 第81期 |
| | 2013年9月期 | 2014年9月期 | 2015年9月期 | 2016年9月期 | 2017年9月期 | 2018年9月期 |
| 売上高 | 12,497 | 14,037 | 12,384 | 10,690 | 12,185 | 12,759 |
| 経常利益 | 636 | 826 | 723 | 487 | 620 | 705 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 406 | 504 | 472 | 288 | 444 | 484 |
| 1株当たり当期純利益 | 76円85銭 | 96円43銭 | 90円14銭 | 53円99銭 | 85円08銭 | 92円91銭 |
| 総資産 | 7,193 | 7,564 | 7,133 | 7,395 | 8,927 | 9,238 |
| 純資産 | 3,477 | 4,049 | 4,635 | 4,823 | 5,382 | 5,869 |

Ⅱ 第79-81期) 中期経営計画の振り返り

基本方針

- ◆ 3事業分野の事業領域の拡大
- ◆ 収益力の向上と財務基盤の強化
- ◆ 人材・組織力の強化と企業統治の向上

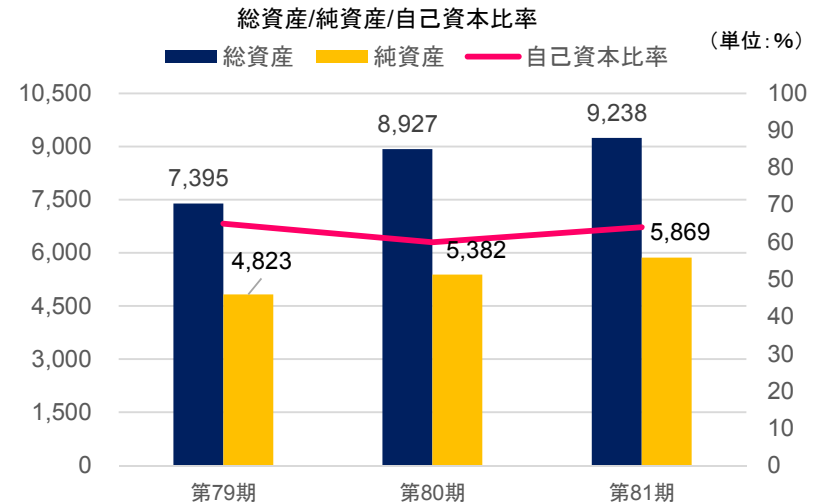
目指す企業像に「より必要とされる企業へ」を掲げ、3ヶ年で磐石な経営基盤づくりを推進

【3事業分野の事業領域拡大】

(単位：百万円)

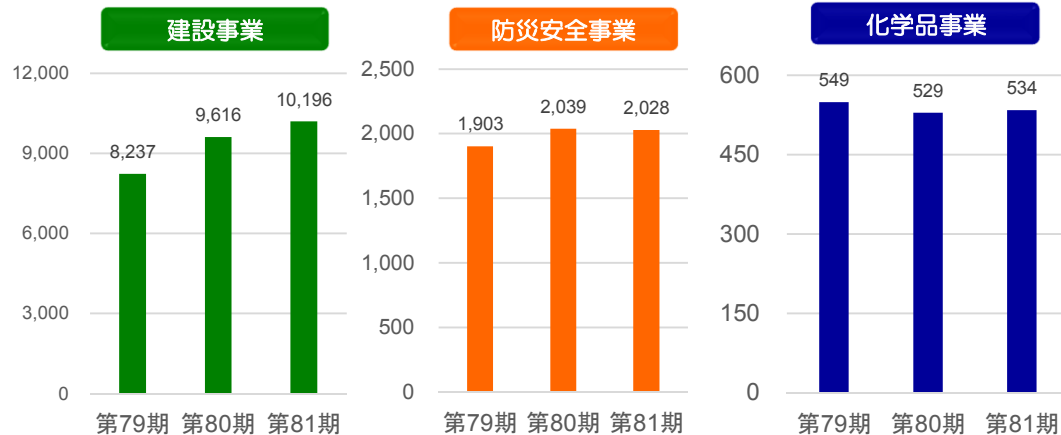
| 事業部別売上高 | 第79期 | 第80期 | 第81期 |
|---------|--------|--------|--------|
| 建設事業 | 8,237 | 9,616 | 10,196 |
| 防災安全事業 | 1,903 | 2,039 | 2,028 |
| 化学品事業 | 549 | 529 | 534 |
| 合計 | 10,690 | 12,185 | 12,759 |

【収益力の向上と財務基盤の強化】



【人材・組織力の強化と企業統治の向上】

- 施工体制強化のために人員増強
- ブロック制導入、組織再編
- 各種研修の拡充
- 働き方改革委員会の立ち上げ

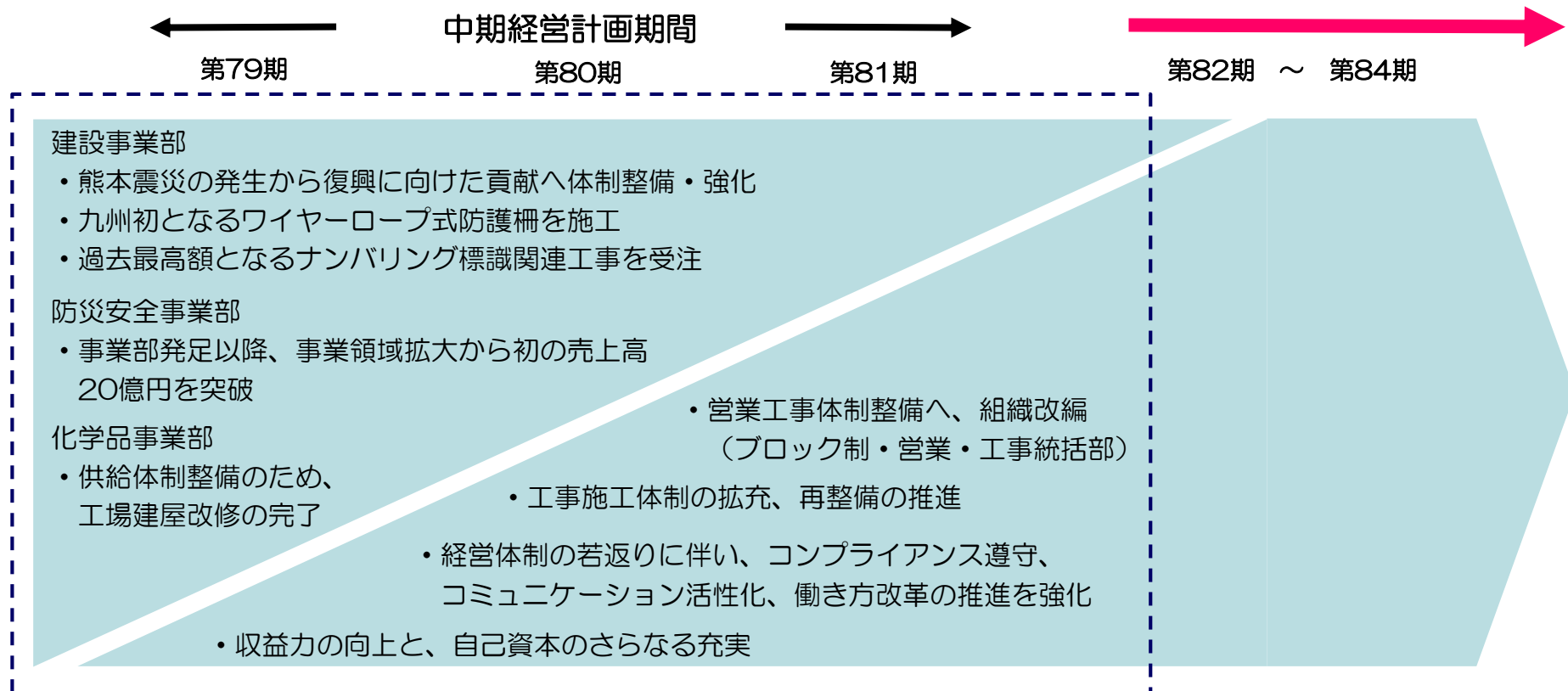


Ⅱ 第79-81期) 中期経営計画の振り返り

基本方針

- ◆ 3事業分野の事業領域の拡大
- ◆ 収益力の向上と財務基盤の強化
- ◆ 人材・組織力の強化と企業統治の向上

目指す企業像に「より必要とされる企業へ」を掲げ、3ヶ年で磐石な経営基盤づくりを推進



Ⅲ 【第82期～84期】 中期経営計画策定の背景

【マーケット分析】

| | | | | |
|--------|--|---|--|--|
| 2019年 | <ul style="list-style-type: none"> • 天皇陛下退位 改元 • 福岡空港民営化 • 国土交通省、3～5年の計画にてワイヤーロープ設置 • 安全衛生法改正に伴う安全带（ハーネス型）への規格改定 | <ul style="list-style-type: none"> • 消費税10%へ引き上げ | <ul style="list-style-type: none"> • G20財務省サミット日本開催 | |
| 2020年 | <ul style="list-style-type: none"> • 東京オリンピック開催 | <ul style="list-style-type: none"> • 鹿児島国体開催 | <ul style="list-style-type: none"> • 東九州道（志布志～鹿屋串良）開通 | |
| 2021年 | <ul style="list-style-type: none"> • 収益認識会計基準の適用 | <ul style="list-style-type: none"> • 都城志布志道路（乙房～南横市）開通 | | |
| ※2022年 | <ul style="list-style-type: none"> • 福岡市地下鉄七隈線延伸 | <ul style="list-style-type: none"> • 九州新幹線（武雄温泉～長崎）開通 | | |
| ※2023年 | <ul style="list-style-type: none"> • 佐賀国体開催 | | | |

【SWOT分析】

| | 機 会 | 脅 威 |
|------|---|--|
| 外部環境 | <ul style="list-style-type: none"> • 既存インフラ設備の老朽化対策の推進 • 国交省方針『暫定2車線高速道路ワイヤーロープ設置』 • 労働安全衛生に関する法規制強化 • 企業BCP含め、自然災害対策への防災意識向上 • 好調な大型建設車両用タイヤの需要拡大 | <ul style="list-style-type: none"> • 公共工事予算動向との関連性 • 入札要件における地元優先の拡大 • 人口減少と高齢化社会の進行による労働人口の低下（建設コスト高騰、保護具需要低下） • 原油価格動向による原材料、燃料費への影響 • 企業買収防衛対策としての資本政策 |
| 内部環境 | 強 み | 弱 み |
| | <ul style="list-style-type: none"> • 九州全域の営業拠点網（ネットワーク） • 主要メーカーとの連携（建設・防災） • 大型工事实績と技術者（技術力の確保） • 強固な財務基盤（資金力） | <ul style="list-style-type: none"> • 技術者の高年齢化（技術承継） • 業務効率向上への対策にかかるコスト • 全社員の1/3を占める若年者への教育 |

Ⅲ 【第82期～84期】中期経営計画策定の背景

■ 中期経営計画策定において『経営理念』への立ち回り

経営理念

環境にやさしく安全な社会の
創造に向けてあくなき挑戦を続ける。

【直近3年での激甚災害指定状況】（内閣府）

| | |
|-------|--|
| 2016年 | 4月 - 熊本地震 6月 - 梅雨前線による大雨（熊本、宮崎） 8月 - 台風及び前線による大雨防風（北海道、岩手） 9月 - 台風16号（鹿児島・宮崎） |
| 2017年 | 7月 - 平成29年7月九州北部豪雨災害 9月 - 台風18号（大分、愛媛、京都） 10月 - 台風21号（近畿） |
| 2018年 | 7月 - 平成30年7月西日本豪雨災害 9月 - 北海道胆振東部地震 |

度重なる自然災害、労働災害、交通災害に対し、3事業分野をもって発生を抑制する防災・減災へ貢献すること。また、災害復旧・復興に対し、迅速な対応から安全・安心を提供することが“当社グループの使命”



“安全な社会の創造”

IV 基本方針 【第82~84期】中期経営計画

理想

100年企業に向けた強固な足場作りとして、グループ一体での営業力・技術力結集から、地域・業界での絶対的存在感を発揮する。

中期経営計画 全体テーマ

“4C” “コンシャス”
(意識する)

「Compliance」
コンプライアンス

「Communication」
相互理解

「Challenge」
挑戦

「Creation」
創造

中期経営計画 全体シナリオ

【建設事業】

営業力・技術力向上を図りつつ事業領域の拡大

【防災安全事業】

さらなる成長戦略から10年後、倍増の事業規模への基盤づくり

【化学品事業】

今後10年を見据え売上高10億円規模への体制整備

攻守絡めた子会社施策の強化

さらに高まる地元優先への対応を目的として、九州全県にて子会社展開

既存子会社の位置付け明確化と新たな展開の実行

- コンプライアンス経営の推進から、企業リスクの最小化
- 相互コミュニケーションの醸成
- 「働き方改革」の推進
- 効率化追求のためのIT化推進

IV 基本方針 【第82～84期】中期経営計画

| | | | | | | | | | | | |
|--------|--|---|----|--|----|--|------|--|----|---|-----|
| 事業部テーマ | 建設事業部 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 社内体制の強化及び子会社施策の進展から営業と工事の分離を促進 ■ 提案型営業体制の構築による営業力のレベルアップ ■ 自社製品の販路拡大とブランド戦略 ■ 大型工事における技術力向上から「安全・品質・効率・適正利益」の追求 | | | | | | | | | |
| | 防災安全事業部 | <ul style="list-style-type: none"> ■ キーワード『強化』を主眼に、安定的な業績の確保へ戦う集団の形成 ■ 『計画⇒実行⇒確認⇒見直し』スケジュールに則った進捗管理から、さらなる飛躍への土台構築 | | | | | | | | | |
| | 化学品事業部 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 技術承継を中心に生産（人材・品質・設備）体制の強化 ■ 安全・品質の向上 | | | | | | | | | |
| | 管理本部 | <table border="0"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">総務</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ コンプライアンス体制の徹底とリスク管理の強化 ■ コーポレートガバナンスの進展への対応 </td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 10px;">人事</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ モチベーション向上施策の実行 ■ 人材の確保と育成 </td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 10px;">システム</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ 働き方改革の推進 ■ 基幹システムのリプレース </td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 10px;">財務</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ 事務担当の役割転換と業務合理化 </td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 10px;">その他</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ 資本政策と株主還元の充実 </td> </tr> </table> | 総務 | <ul style="list-style-type: none"> ■ コンプライアンス体制の徹底とリスク管理の強化 ■ コーポレートガバナンスの進展への対応 | 人事 | <ul style="list-style-type: none"> ■ モチベーション向上施策の実行 ■ 人材の確保と育成 | システム | <ul style="list-style-type: none"> ■ 働き方改革の推進 ■ 基幹システムのリプレース | 財務 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 事務担当の役割転換と業務合理化 | その他 |
| 総務 | <ul style="list-style-type: none"> ■ コンプライアンス体制の徹底とリスク管理の強化 ■ コーポレートガバナンスの進展への対応 | | | | | | | | | | |
| 人事 | <ul style="list-style-type: none"> ■ モチベーション向上施策の実行 ■ 人材の確保と育成 | | | | | | | | | | |
| システム | <ul style="list-style-type: none"> ■ 働き方改革の推進 ■ 基幹システムのリプレース | | | | | | | | | | |
| 財務 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 事務担当の役割転換と業務合理化 | | | | | | | | | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 資本政策と株主還元の充実 | | | | | | | | | | |